



「中小企業は、国の礎・地域の宝」

山 出 保 石川県中小企業団体中央会会長

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新春の門出を健やかに迎えられたことと謹んでお慶び申し上げます。旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、心より感謝申し上げます。

昨年はアベノミクスの強力な推進により、デフレからの早期脱却と経済再生の実現を期待してスタートを切りました。

現下の経済情勢を見ますと、雇用・所得環境に改善がみられ全体としては緩やかに回復しているといわれていますが、昨年4月の消費税8%への引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や行き過ぎた円安による原材料・燃料の高騰などが企業の収益を圧迫し、中小・小規模企業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。

景気の回復を図るには、地域の雇用を支える中小・小規模企業が先導役となることが肝要です。中小・小規模企業の成長・持続的な発展とわが国の持続的な経済成長に結びつけるためには、昨年改定された「日本再興戦略」に掲げる成長戦略を着実に実行することが必要であり、「地域」にターゲットを絞った新たな「中小企業・小規模事業者成長プラン」として、地域経済の自立的な発展と地域経済の好循環をもたらす「ローカル・アベノミクス」の実現が重要であります。

石川県当局においては、企業ドックや緊急経営安定支援融資の拡充、緊急雇用創出事業の実施など、時宜を得た経済・雇用対策を打ち出し、中小企業の経営の安心を確保するため各種支援策を進めてこられました。また、北陸新幹線の3月14日金沢開業に向けて効果を最大限引き出すための基本戦略を策定し、アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」の開店をはじめ各種事業を次々と推進しておられます。引き続き積極的な施策展開を期待するところであります。

中小・小規模企業の連携組織を通じ企業の発展を支援する本会としましては、今後とも、連携組織の構築を基軸とし、経営革新の推進、地場資源の活用による地域の振興、人材養成・ものづくり対策、雇用対策等に積極的に取り組んでまいり所存であります。更に、北陸新幹線の金沢開業に向けて、これまで以上に新商品・新サービスの開発やブランド化をはじめ、まちなか商店学習塾開催等による商店街の活性化支援を行うとともに、連携組織を通してまちの魅力や地域の魅力を発信し、ビジネスチャンスを掴む土壌づくりを行ってまいります。

中小・小規模企業の個々が有する経営資源は決して十分とは言えません。しかし、それぞれの企業には大企業には真似のできない独自の技術やノウハウ、サービスを有している企業が多くあり、これらが集結し組合をはじめとした連携組織を構築したとき、個々の力は何倍にも増幅され無限の可能性を生むこととなります。今こそ個々の中小・小規模企業が有する物的・人的経営資源を多角的に連携させることにより事業機会の確保に努めることが有効であり、求められております。

むすびに、これからも「ともに考え、ともに行動し、結果を出す中央会」にと、役職員一丸となって奮闘する決意であります。

各位のご健勝、ご発展を念じつつ変わらぬご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。